

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本ゼットック相模原事業所3号棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県相模原市緑区大山町1番5号	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年1月10日
敷地面積	5,193 m ²	作成者	株式会社 竹中工務店
建築面積	2,729 m ²	確認日	2019年1月10日
延床面積	5,777 m ²	確認者	株式会社 竹中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

★ ★ ★ ★ ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ★ ★

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 既存棟との一体的な利用を可能とする合理的なプランニングとし、清浄度管理や動線の明確な分離・コンタミ防止施策を十分に実施した高品質な製造工場を実現する。		その他 建設工事における廃棄物の低減を図る。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 天井裏にISS空間を設け、設備機器のメンテナンス性、更新性の向上を図るとともに、節水型器具の採用、ゆとりある階高および荷重設定により建物の耐用性、更新性に配慮した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周辺の道路、建物に対し正対し色調をそろえることで町並み景観への配慮を行い、敷地西側道路境界線からは外壁面をセットバックさせ圧迫感の軽減を図っている。
LR1 エネルギー 高効率照明器具の採用や、生産機器への冷水供給は井水を冷却利用する事で設備システムの高効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用し水資源の保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 十分な建物利用者駐車場及び物流車両用トラックパースを設けることで周辺交通への影響を軽減する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される